

スーパーボールで遊んでいるよ

「スーパーボールで遊んでいるね。」

「大きなボールで遊んでいる子もいるね。」

「どっちがよい子？おひさまマークの子かな？お月さまマークの子かな？」

「おひさまマークの子と、お月さまマークの子、どこが違うかくらべてみよう。」

★違い

おひさまマーク⇨大きなボールで遊んでいる

お月さまマーク⇨スーパーボール（子どもの口に入る大きさ）

スーパーボールを口に入れている

★事故予防のポイント

①スーパーボールのようなものは喉に詰まりやすいので危険

子どもは何でも口に入れたがりますね。それが食べ物であっても子どもにとっては危険なことがありますので、子どもの月齢・年齢に応じたものを与える必要があります。「スーパーボール」のように丸くて表面がツルツルしており、弾力があるもの、そして子どもの口に入る大きさのものは、「はっ！」と驚いたりつまずいたりした拍子に喉に詰まることがあります。子どもが複数のスーパーボールを口の中に入れ、窒息するという事故も実際に起こっています。このようなものが一旦喉の奥に入ってしまうと、取り出すことができなくなる場合があります。

②予防するために

・子どものおもちゃの大きさや形を確認してください。確認するときは、「これを口の中に入れ、つまずいたり転んだりしても口の中や喉をケガしないか」「これを口の中に入れて何かの拍子に喉の奥に入ってしまったとしても窒息しないか」「万が一飲み込んでも身体に悪い影響を与えないか」を考えながら行います。

・一般的に三才児の口径は三十九ミリとされています。保護者の方の手の親指と人差し指でマルを作ってみてください。その大きさが三十九ミリの目安です。このマルの中に入らないものであれば子どもの口に入る心配はありません。